

目次

1面

日本学術会議任命拒否問題が突き付ける課題
学園内に抵抗すべき組織の思想を

藤原 晃・学校労働者

2面～3面

状況 2020・政治 「菅政権」誕生をどう捉えるか（下）
労働者の歴史観、階級観を研ぎ澄ませ
資本主義的「自由」と「民主主義」、「人権」と「平和主義」を問う

広野省三

4面

《2020 年年末釀金アピール》
人民の一元管理支配ねらう菅政権
菅流「構造改革」を打ち砕こう！

〈活動家集団 思想運動〉 常任運営委員会

学生通信

元首相への弔意強要の日に
人なきキャンパスでの抗議の声
石附鈴之介（一橋大学大学院言語社会研究科博士後期課程）

沖縄ルポ

声を上げ、声を集め、声と出会う
誰の声に耳を傾けるのか？

大舘まゆみ

5面

東日本大震災・壊滅地区復興委員だより（27）
再エネ狂想曲、人民からの二〇兆円略奪で自民党永久政権へ！

金野正晴（自営業）

二〇二〇年 関西夏季セミナーの報告から
大阪維新——この一〇年
階級支配の新たな政治手法生み出したプロセス

まとめ＝南川 潤

6面

インタビュー

佐々木史朗氏（全統一労働組合書記長）に聞く
今こそ労働組合が力を発揮するときだ
コロナ禍での労働現場の状況と労働組合の闘い

国際短信 世界のいま
〈イギリス〉広がるギグジョブ

前照灯
新しきものと古きもの

7面

雑誌『国際主義』第一号を読んで（続）
新自由主義合理化に抗して

小熊宏樹（私鉄労働者・バス運転士）

国際主義の根底にあるもの

花井吉宅（茨城県在住）

『国際主義』誌に大いに期待

文弘長（埼玉県在住）

創刊号発刊によせて

伊地知終三（地方自治体非正規職員）

国際政治資料と理論研究誌『国際主義』第2号（12月発行予定）

8面

拉致問題で歪む日本の民主主義（62）

「神様がコロナを蔓延させた」と嘆し立て

コロナ禍を“圧力”化する「救う会」鬼畜の論理

政府・日本社会は「救う会」と絶縁し日朝共同宣言の初心に戻るべき

高嶋伸欣（琉球大学名誉教授）

9面

『山下菊二展』を皮切りに

「反発する美術家」の精神を現在に生かすには

—— 粟津ケンさん今日の文化状況を語る

聞き手＝金山明子

10面～11面

「骨 還せ」訴訟から見えるもの（下）

訴訟の先に広がりを見せる京大「学知植民地主義」批判とは

木原健一（京都在住）

トピック・TOPIC

止めよう新基地建設！辺野古裁判勝利！10・14 学習集会開催

日向よう子

コロナ解雇反対！弱者切り捨て反対！「10・23 銀座デモ」

友田幸枝

『勝利のその日まで！』発刊
普及に協力しよう！

横道昭子

2件の最高裁判決（メトロコマースと大阪医大事件）糾弾！
労働組合に入り団結して闘おう

村上理恵子

12面

『明治維新の歴史』を執筆して
明治維新論をめぐる熱い論議を

梅田 正己（書籍編集者）

頂門一針
ハンセン病資料館
学芸員雇い止め

催物案内

紙つぶて
「学問の自由」だけでいいのか

高梨晃嘉（横浜市在住）

学問の自由侵害に対する闘い

李東埼（ジャーナリスト）

前号山下さんの論考を読んで

土田宏樹（元郵便労働者）

編集部発